

主題書誌索引

2015-2021

有木 太一・中西 裕 共編

凡 例

1. 編集概要

- (1) 本書は、『主題書誌索引』（深井人詩編・1966～1980年収録）、『同 81/91』（深井人詩編・1981～1991年収録）、『同 1992-2000』（深井人詩編・1992～2000年収録）、『同 2001-2007』（中西裕編・2001～2007年収録）、『同 2008-2014』（中西裕編・2008～2014年収録）の継続版で、2015～2021年に発表された主題書誌を収録した「書誌の書誌」である。
- (2) 『書誌年鑑』2016～2022年版に収められた書誌のうち、人物書誌以外のものを収録した累積索引版である。

2. 本書の内容と収録点数

- (1) 主題書誌と、国内外の各地方に関する地域書誌を収録した。紙幅の都合上、雑誌・新聞など逐次刊行物の総目次・目次一覧などは、一部を除き割愛した。
- (2) 見出し項目は9,326件、収録した書誌はのべ51,886点である。

3. 構成

見出し目次と本文より成る。

4. 見出し項目（キーワード）とその配列

- (1) 主題語・件名、都道府県名・地方名、外国名・地方名を見出し項目（キーワード）とし、五十音順に混合配列した。一部の見出し項目については見直し・修正を行い、また各項目内には一字あきで下位見出し項目を付記したものもある。
- (2) ぢ→じ、づ→ず、として配列した。
- (3) 必要に応じて、参照見出しを立てた。
(例) 欧州 → ヨーロッパ を見よ

5. 記述形式

- (1) 図書と雑誌とがはっきり区別できるように、下記の記号を各文献記述の冒頭に付した。

図書→◎ 雑誌→○

- (2) 記述順序

①図書単行書誌（図書一冊）

◎『書名 副書名』（著編者名） 出版者 発行年月 頁数 判型

②図書収録書誌（図書の一部）

◎書誌表示（編者名）『書名 副書名』（著編者名） 出版者（叢書名） 発行年月 掲載頁

③雑誌掲載書誌（雑誌記事）

○書誌表示（編者名）「誌名 巻号」（出版者） 発行年月 掲載頁

※書誌表示は、参考文献・文献目録・引用文献・年譜・年表等と記載した。

- (3) 頁記述

p:page f:front b:back r:random

pf:前付部分に書誌があつて、頁付がない場合。

pb:後付部分に書誌があつて、頁付がない場合。

pl-3f:前付部分に書誌があつて、頁付がある場合。

pl-3b:後付部分に書誌があつて、頁付がある場合。

pr:各章節末に書誌がある場合。

p78」は第78頁1頁のみのもの。

- (4) 判型（A判、B判以外のもの）

ss:新書判

46s:四六判

6. 書誌配列

- (1) 見出し項目のもとに、該当する書誌を配列した。
- (2) 同一見出しに複数の書誌がある場合は、図書と雑誌を混配して発行年月順に配列した。

この本の使い方

1. アペリティフ

すでにご存じとは思いますが、書誌とは何であるかをまず確認しておこう。ざっくり言えば、書誌とは「本の選手名鑑」である。

野球やサッカーなどのプロスポーツ、あるいはAKBや坂道などアイドルグループには、「選手名鑑」「メンバー名鑑」といった本（ないし冊子）がある。運営会社など興行側でつくる公式本、一般の出版社や個人がつくる非公式本の別を問わず、スポーツなら各チームの選手について、アイドルならそのグループのタレントについて、プロフィールが紹介されている。単独で1冊にまとめられるほか、雑誌の特集記事や付録になったり、一部公営ギャンブルでは無料配布されることもある。

書誌はこれらと似ている。選手名鑑には、あるチームが試合で勝利することを目標として集められた選手の、氏名・出身地・生年月日・背番号・ポジション・身長・体重といった情報が出ている。これと同じように、書誌には、あるテーマを究明することを目標として集められた本の、書名・著者名・刊行年月・出版者（社）といった項目が掲載されている。チーム＝テーマに則って、選手＝本が紹介されている。書誌によって、あるテーマを明らかにするための本を知ることができる。

本書のもとになっている『書誌年鑑』という本は、「書誌」というテーマに基づいて書誌＝本の選手名鑑を集め、1982年から毎年刊行されている本である。書誌を集めた書誌ということから“書誌の書誌”と呼ばれている。これにより、どんな「本の選手名鑑」が出ているかがわかり、あるテーマについて知りたい／調べたいと思った時に、どの本を読んだらよいかの指針となるのである。こうした用途を補うものとして、図書館にはOPAC（オンライン蔵書目録）が普及しているが、OPACではその館で所蔵しているものしか検索できないし、また隣接領域の文献がたまたま目に入るということも生じないので、プラスアルファの効果は生まれにくい。

大学に入学すると、学術論文やレポートの作成についてオリエンテーションを受けると思う。そこでよく言われているのが、学術論文の脚注から芋づる式に参考文献を探し求めるというやり方である。ところが、この方法はかなりの労力を要する。脚注には参考文献以外の内容も含まれており、文献の書誌情報だけをまとめようとしても余計なノイズが多いからだ。そもそも「論文」にどのように行き当たればよいのか。

そういう時に、まず『書誌年鑑』、そしてこれをもとにした2冊の蓄積版、本書『主題書誌

索引』と姉妹編『人物書誌索引』を手にしていただきたい。書誌＝文献一覧がテーマ別に多数並んでいる。読者は文献を探索する際にまず本書を使うことで、芋づるをたぐり寄せるエネルギーが軽減できるのである。

というわけで、本書は、単に物事を知る・調べることから一歩進んで、よりクリエイティブに、イノベティブな論文やレポートを生産するための本であると言える。

2. プラ

『木綿のハンカチーフ』『ルビーの指環』『北ウイング』など、昭和の時代における数々のヒットソングについて調べてみよう。

昭和時代のヒットソングということで「ヒットソング」あるいは「ヒット曲」という語を、本書『主題書誌索引2015-2021』の目次で探しても、出てこない。主題編に付されている見出し（キーワード）は、特に一般名詞ではかなりの振れ幅があるので、意味の似た別の語を次々に連想して検索すると、好結果が得られる（大まかな傾向としては、比較的硬い漢字の語が多い）。こうして「流行歌」が786～787ページに掲載されているとわかり、当該のページに「流行歌」は25件。最初の項目を見ると、「参考文献」という形で『日本鉄道歌謡史 2』という本（松村洋著、みすず書房2015年8月刊）の593～604ページに書誌が載っていると記されている。残りの24冊も、同じ形式で書誌情報が書かれている。

今ここで出てきた合計25冊のうち、自分のテーマに関係がありそうな本を選んで読むだけでも、流行歌についてそれなりの知識は得られるのであるが、それでは本書を「使いこなした」とは言えない。本書で検索しても、書誌が掲載されていない本の情報は抜け落ちているからである。テーマ別にどんな文献が出ているかを知りたいだけなら、『日本件名図書目録』などテーマ別文献索引、あるいは図書館OPACのキーワード検索を使えば足りる。

本書の真の出番は、その先にある。本書は“書誌の書誌”であるので、今出てきた25冊の本には、必ず書誌、つまり文献一覧が掲載されている。1冊手に取ってみると、そこにはその本を書くために著者が使った本が、参考文献一覧という形でズラリと並んでいる。意に即した本を選び、それぞれの書誌に掲載されている文献を総合して、自分が読まねばならない本（単行書だけでなく雑誌記事や論文なども含む）をリストアップする。これが、文献調査の始まりである。

リストアップした文献が少ないと思われたら、さらに別の単語で検索を続けてみることはもちろん、本書の過去の版や、本書のもととなった『書誌年鑑』の各年度版、本書の姉妹編『人物書誌索引』も閲覧するとよい。少々繰り返しになるが、『書誌年鑑』は1982年以降毎年刊行され、さらにこれをもとにした2冊の蓄積版『主題書誌索引』『人物書誌索引』が、これまでに各5冊発行されている。そちらに出ている書誌も参照すれば、さらに多くの文献が閲覧でき

るハズである。本書がカバーしていない2022年以降の書誌の情報は、『書誌年鑑』の2023年版以降をご参照いただきたい。

蛇足だが、本書の姉妹編である『人物書誌索引』についても触れておこう。この本は人物についてのキーワードを集成したものである。主題編（本書）で「流行歌」を検索したので、人物編では関連する人名をいくつか引いてみよう。『人物書誌索引2015-2021』には、作詞家の「阿久悠」をテーマとする書誌が5件、「なかにし礼」が1件、「松本隆」が2件、「秋元康」が1件、掲載されている。

さて、あるテーマに関して複数の書誌を検討していくと、どの書誌にも共通して掲載されている本があるのに気付く。これは、そのテーマについて調べる際に読んでおかなければ始まらない、どの著者も参照「せざるを得なかった」基本的な重要文献である。目標とするテーマについて、まずそうした本を探し出し、内容を徹底的に把握することにより、書こうとする論文に盤石な基礎が形成されることになる。

それ以外の文献は、バラエティに富んだ様々なものが掲載されている。中には、直接関係あると思えないような文献もあるが、こういった文献はすべて、論文に枝葉を茂らせるためのものである。

あとは、書誌で見つけた文献を徹底的に調べ上げれば、力作の出現は近い。ここまで来れば、あなたはもはや昭和時代のヒットソングについて“第一人者”であるといえよう。

3. デセール

残念ながら、本書や『書誌年鑑』の存在はあまり知られていないようだ。この原稿を書く際、いろいろな大学の「論文の書き方」のようなwebページを複数見てみたが、『書誌年鑑』に触れているものを発見することはできなかった。しかし、逆に言うと、存在の知られていない本書や『書誌年鑑』を活用することで、あなたはライバルに一步も二歩も差をつけることができるのである。

本書のような「書誌の書誌」は、欧米など諸外国では、国立図書館や最有力図書館学会の編集物であることが多いようだ。一方日本では、一介の個人編集者が細々と作り、それを志のある出版社が採算を度外視して刊行しているのが現状である。しかし今後、日本の学術や文化、とりわけ人文・社会分野においては、「書誌の書誌」を一瞥すれば、到達水準の高さが一目で読み取れるようになるであろう。過去の編者は、そう信じて『書誌年鑑』を毎年編集してきたし、私もそのつもりでいる。末永くご愛顧を賜りたい。（有木太一）

目次

アイ(藍).....3	アイランド.....6	アイランド 演劇.....6	アイランド 芸術.....6	アイランド 文学.....6	アイランド 歴史.....6	アイロニー.....6	アウトサイダー・アト.....7	青いとり保育園.....7	【青い花】.....7	青木嵩山堂.....7	青森県.....7	青森県 岩木山.....7	青森県 亀ヶ岡遺跡・是川遺跡.....7	青森県 三内丸山遺跡.....7	青森県 斗南藩.....7	青森県 階上町.....7	青森県 八戸市.....7	青森県 八戸藩.....7	青森県 八甲田山.....7	青森県 弘前市.....7	青森県 歴史.....7	青森県 六ヶ所村.....7	青山学院女子短期大学.....7	赤.....7	「赤い鳥」.....7	アーカイブ.....8	アカ族.....8	秋田県.....8	秋田県 秋田藩.....8	秋田県 大湯村.....8	秋田県 鹿角市.....8	秋田県 田沢湖.....8	秋田県 能代市.....8	秋田県 八郎潟.....8	秋田県 東成瀬村.....8	秋田県 歴史.....8	【秋萩帖】.....8	空き家.....8	悪臭.....8	悪臭防止法.....8	アクションリサーチ.....8	アクセサリー.....8	アクセント.....8	アクティブラーニング.....8	悪魔.....9	明智小五郎.....9	【阿含経】.....9	アサ(麻).....9	【アサー王伝説】.....9	浅草オペラ.....9	アサーション.....9	アサヒ・アート・フェスティバル.....9	朝日新聞.....9	アサヒファシリティズ.....9	「朝まで生テレビ!」.....9	アザラシ.....9	アサリ.....9	足.....9	アジア.....9	アジア 外交.....10	アジア 外交史.....10	アジア 企業.....10	アジア 教育.....10	アジア 金融.....10	アジア 経済.....10	アジア 経済史.....11	アジア 交通史.....11	アジア 市場.....11	アジア 社会.....11	アジア 政治.....11	アジア 中央アジア.....11	アジア 東南アジア.....11	アジア 東南アジア企業.....11	アジア 東南アジア教育.....12	アジア 東南アジア経済.....12	アジア 東南アジア史.....12	アジア 東南アジア社会.....12	アジア 東南アジア諸国連合.....12	アジア 東南アジア政治.....12	アジア 西アジア.....12	アジア 農業.....12	アジア 東アジア.....12	アジア 東アジア外交.....13	アジア 東アジア外交史.....13	アジア 東アジア経済.....13	アジア 東アジア史.....13	アジア 東アジア政治.....14	アジア 法.....14	アジア ボルネオ島.....14	アジア 南アジア.....14	アジア 南アジア史.....14	アジア 歴史.....14	アジア 開発銀行.....14	「アジア学叢書」.....14	アジア女性基金.....14	アジア的生産様式.....14	足尾鉾毒事件.....14	アシカ.....14	アジャイル開発.....14	「芦屋道満大内鑑」.....14	飛鳥時代.....14	アズキ.....14	安土桃山時代.....14	アステカ文明.....15	【アストロノミカ】.....15	アスバラガス.....15	アスピリン.....15	アスベスト ⇒石綿を見よ.....15	アスベルガー症候群.....15	【吾妻鏡】.....15	ASEAN ⇒アジア 東南アジア諸国連合を見よ.....15	アゼルバイジャン.....15	「新しき土」.....15	新しき村.....15	アチックミュージアム.....15	圧縮機.....15	圧縮空気.....15	アッシリア王国.....15	圧電気.....15	圧力団体.....15	当て字.....15	アートドキュメンテーション.....15	アトピー性皮膚炎.....15	アートマネジメント.....15	アドラー心理学.....16	アトランティス.....16	アナウンサー.....16	アナキズム ⇒無政府主義を見よ.....16	アナグマ.....16	「アナと雪の女王」.....16	アナール学派.....16	アナロジー.....16	アニマルセラピー.....16	アニミズム.....16	アニメーション.....16	アニメーター.....16	アバルトヘイト.....16	アパレル産業.....17	アバンギャルド.....17	阿毘達磨.....17	アフガニスタン.....17	アブラヤシ.....17	アフリカ.....17	アフリカ 音楽.....17	アフリカ 外交史.....17	アフリカ 北アフリカ.....17	アフリカ 経済.....17	アフリカ 社会.....18	アフリカ 神話.....18	アフリカ 政治.....18	アフリカ ナイル川.....18
-------------	-------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-------------	------------------	---------------	-------------	-------------	-----------	---------------	----------------------	------------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	--------------	----------------	------------------	---------	-------------	-------------	-----------	-----------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	--------------	-------------	-----------	----------	-------------	-----------------	--------------	-------------	------------------	----------	-------------	-------------	-------------	----------------	-------------	--------------	-----------------------	------------	------------------	------------------	------------	-----------	---------	-----------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	---------------	---------------	------------------	------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	----------------------	--------------------	-----------------	---------------	-----------------	-------------------	--------------------	-------------------	------------------	-------------------	--------------	------------------	-----------------	------------------	---------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	---------------	------------	----------------	------------------	-------------	------------	---------------	---------------	------------------	---------------	--------------	---------------------	------------------	--------------	--------------------------------	-----------------	---------------	-------------	-------------------	------------	-------------	----------------	------------	-------------	------------	----------------------	-----------------	------------------	----------------	----------------	---------------	------------------------	-------------	------------------	---------------	--------------	-----------------	--------------	----------------	---------------	----------------	---------------	----------------	-------------	----------------	--------------	-------------	----------------	-----------------	-------------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------------------

イギリス 政治

- ◎参考文献「英国の地方自治—その近現代史と特色」(山下茂) 第一法規 2015.2 p275-286
- ◎参考文献「英国の貴族院改革—ウェストミンスター・モデルと第二院」(田中嘉彦) 成文堂 2015.9 p333-361
- ◎文献「ウェストミンスター政治の比較研究—レイバハルト理論・新制度論へのオルターナティブ」(R.A.W.ローズほか) 法律文化社 2015.10 p285-304
- ◎参考文献「イギリス保守主義研究」(戸澤健次) 成文堂 2016.3 p210-214
- ◎参考文献「英国地方自治の素顔と日本—地方構造改革の全容と日英制度比較」(内貫滋) ぎょうせい 2016.3 p423-430
- ◎参考文献「分解するイギリス—民主主義モデルの漂流」(近藤康史) 筑摩書房 2017.6 p257-267
- ◎引用文献リスト「妥協の政治学 イギリス議会政治の思想空間」(遠山隆淑) 風行社 2017.7 p172-180
- ◎参考文献「BREXIT「民衆の反逆」から見る英国のEU離脱—緊縮政策・移民問題・欧州危機」(尾上修悟) 明石書店 2018.1 p378-379
- ◎参考文献「議院内閣制—変貌する英国モデル」(高安健特) 中央公論新社 2018.1 p288-279
- ◎参考文献「英国のEU離脱とEUの未来」(須網隆夫ほか) 日本評論社 2018.11 prr
- ◎引用参考文献「英国議会「自由な解散」神話—解釈主義政治学からの一元視議院内閣制論批判」(小堀真裕) 見洋書房 2019.10 p211-227
- ◎参考文献「EU離脱—イギリスとヨーロッパの地殻変動」(鶴岡路人) 筑摩書房 2020.2 p3-4b
- ◎参考文献「英国の地域政策」(石見豊) 成文堂 2020.3 p226-239
- ◎参考文献ほか「欧州分裂クライシス—ポピュリズム革命はどこへ向かうか」(熊谷敏) NHK出版 2020.3 p283-281
- ◎文献「イギリスの社会的企業と地域再生」(小磯明) 同時代社 2020.9 prr
- ◎参考文献「『ブレグジット』という激震—混迷するイギリス政治」(S.デイほか) ミネルヴァ書房 2021.2 p307-324
- ◎参考文献「英国の地方自治—国・地域・自治体がつくるガバナンス新版」(A.スティーブンズ) 芦書房 2021.5 p245-248

イギリス 政治史

- ◎参考文献「イギリス現代政治史 2版」(梅川正美ほか) ミネルヴァ書房 2016.4 prr

イギリス 大英博物館

- ◎参考文献「大英博物館展—100のモノが語る世界の歴史」(東京都美術館ほか) 筑摩書房 2015.3 p212-213
- ◎参考文献「大英博物館の話」(出口保夫) 中央公論新社 2017.2 p249-248

イギリス 中世史

- ◎文献案内「オックスフォード ブリテン諸島の歴史 7 17世紀—1603年-1688年」(J.ワァーモールド) 慶應義塾大出版会 2015.5 p51-57b
- ◎参考文献「バイユーの綴織 (タペストリ) を読む—中世のイングランドと環海峽世界」(鶴岡博和) 山川出版社 2015.8 p285-289
- ◎参考文献「コモンウェルスの政治思想史—エリザベス一世期の政治的イングランド意識」(山根明大) 立教大出版会 2017.3 p11-36b
- ◎参考文献「中世英国人の仕事と生活」(T.ジョーンズほか) 原書房 2017.3 p325-333
- ◎参考文献「中世のジェントリと社会」(新井由紀夫) 山川出版社 2020.7 p95-98

イギリス 哲学

- ◎参考文献「思想のグローバル・ヒストリー—ホプズから独立宣言まで」(A.アーミテージ) 法政大出版局 2015.3 p18-69b
- ◎文献リスト「ケンブリッジ・プラトニストの哲学的霊性—ミス、ウィチカット、カドワースの説教・講話に通底する特質」(三上章) リトン 2017.3 p449-455
- ◎参考文献「英米哲学入門—「である」と「べき」の交差する世界」(一ノ瀬正樹) 筑摩書房 2018.4 p351-355
- ◎参考文献「啓蒙と勤勞—ロックからアダム・スミスへ」(生越利昭) 昭和堂 2020.3 p365-386
- ◎参考文献「近代イギリス倫理思想史」(拓植尚則) ナカニシヤ出版 2020.11 p425-393

イギリス 図書館

- ◎参考文献「戦争と図書館—英国近代日本語コレクションの歴史」(小山藤) 勉誠出版 2018.11 p278-285
- ◎参考文献「ブリティッシュ・ライブラリーの起源—成立背景と初期

の図書館活動」(藤野寛之) 金沢文圃閣 2020.3 p181-188

イギリス 美術

- ◎参考文献「イギリスにみる美術の現在—抵抗から開かれたモダニズムへ」(石松紀子) 花書院 2015.3 p167-175
- ◎参考文献「英国の贈物」(河崎良二) 編集工房ノア 2015.12 p304-310
- ◎参考文献「美と大衆—ジャポニズムとイギリスの女性たち」(桑和沙) ブリュッケ 2016.9 p264-277

イギリス 文化

- ◎参考文献「ソシオロジー—選書 4 文化・階級・卓越化」(T.ベネットほか) 青弓社 2017.10 p510-531
- ◎参考文献「イングリッシュネス—英国人のふるまいのルール」(K.フォックス) みすず書房 2017.11 p8-10b
- ◎文献目録「『パンチ&ジュディ』のイギリス文化史」(R.リーチ) 昭和堂 2019.5 p283-292
- ◎参考文献「芸術文化助成の考え方—アーツカウンシルの戦略的投資」(石田麻子) 美学出版 2021.8 p233-236
- ◎参考文献「ゴシックの享樂—文化・アダプテーション・文学」(武田悠一) 彩流社 2021.12 prr

イギリス 文学

- ◎参考文献「刻まれた旅程—英文学から英語圏文学へ」(梶正行ほか) 勁草書房 2015.3 p267-271
- ◎参考文献「英国の贈物」(河崎良二) 編集工房ノア 2015.12 p304-310
- ◎Bibliography「中世英語英文学 2」(菊池清明) Shumpusha 2016.2 p167-196
- ◎参考文献「英米文学にみる検閲と発禁」(英米文化学会) 彩流社 2016.7 p263-275
- ◎参考文献ほか「図説英国ファンタジーの世界」(奥田実紀) 河出書房新社 2016.11 p124-127
- ◎参考文献「セクシュアリティとヴィクトリア朝文化」(田中孝信ほか) 彩流社 2016.12 prr
- ◎引用文献「言葉という謎—英米文学・文化のアポリア」(御興哲也ほか) 大阪教育図書 2017.3 prr
- ◎引用文献ほか「知の冒険—イギリス・ロマン派文学を読み解く—西山清先生退職記念論文集」(市川純ほか) 音羽書房鶴見書店 2017.3 prr
- ◎参考文献ほか「17世紀の革命 革命の17世紀」(十七世紀英文学会) 金星堂 2017.9 prr
- ◎引用文献「英国ミドルブラウ文化研究の挑戦」中央大出版部 2018.3 prr
- ◎参考書目「イギリス中世武具事典—英文学の背景を知る」(三谷康之) 日外アソシエーツ 2018.6 p422-428
- ◎BIBLIOGRAPHY「ゴシックの炎—イギリスにおけるゴシック小説の歴史その起源、開花、崩壊と影響の残滓」(D.P.ヴァーマ) 松柏社 2018.6 p473-457
- ◎参考文献「十八世紀イギリス文学研究 6 旅、ジェンダー、間テクスト性」(日本ジョンソン協会) 開拓社 2018.7 prr
- ◎参考文献「イギリス文学を旅する60章」(石原孝哉ほか) 明石書店 2018.8 p375-384
- ◎参照文献一覧「記憶の薄暮—十七世紀英国と伝記」(齊藤美和) 大学教育出版 2018.8 p152-163
- ◎引用文献「憑依する英語圏テキスト—亡霊・血・まほろし」(福田敬子ほか) 音羽書房鶴見書店 2018.8 prr
- ◎引用参考文献「ノンフィクションの英米文学」(富士川義之) 金星堂 2018.10 prr
- ◎引用文献「英語英米文学研究の現在」(成蹊大) 風間書房 2019.3 prr
- ◎参考文献「英文学と映画」(中央大) 中央大出版部 2019.3 prr
- ◎引用文献「怪物のトリセツ—ドラキュラのロンドン、ハリウッドのイギリス」(坂田薫子) 音羽書房鶴見書店 2019.5 p209-224
- ◎引用文献「比喩—英米文学の視点から」(文学と評論社) 英宝社 2019.5 prr
- ◎参考文献「英国ファンタジーの風景」(安藤聡) 日本経済評論社 2019.8 p89-90
- ◎引用文献「家のイングランド—変貌する社会と建築物の詩学」(大石和欣) 名古屋大出版会 2019.8 p12-27b
- ◎翻訳書「イギリス文学・文化の散歩道—シェイクスピア/シドニー/メアリ・ロウス/ワイルド」(村里好俊) 開文社出版 2019.9 p279-281
- ◎参考文献ほか「イギリス文学と映画」(松本朗) 三修社 2019.10 p338-367
- ◎参考文献「『侵攻小説』というプロパガンダ装置の誕生」(深町悟

- 淡水社 2020.3 p207-202 (12-17b)
- ◎参考文献「イギリス近代の中世主義」(M.アレクサンダー) 白水社 2020.11 p36-41b
- ◎参考文献「パラダイス思想の探訪—中世イギリス夢幻物語と聖書との関係を紐解く」(壬生正博) 丸善ブラネット 2021.1 p249-258
- ◎参考文献「緑の信管と緑の庭園—岩永弘人先生退職記念論集」(岩永弘人ほか) 音羽書房鶴見書店 2021.3 prr

イギリス 法

- ◎参考書籍一覧「英国再保険法の基礎知識—問—答」(稲田行祐) 保険毎日新聞社 2015.1 p8-9
- 文献目録(石村耕治)「宗教法—宗教学会誌 35」(宗教学学会) 2016 p315-425
- ◎参考文献「イギリス性犯罪法論」(横山潔) 成文堂 2017.11 p437-439
- ◎参考文献「イギリス法入門—歴史、社会、法思想から見る」(戒能通弘ほか) 法律文化社 2018.6 p185-186
- ◎引用文献一覧「イギリス契約法の基本思想」(N.J.マックブライド) 成文堂 2020.9 p139-142
- ◎文献「イギリス刑法の原理」(A.アッシュワースほか) 成文堂 2021.2 p437-438

イギリス 陸軍

- ◎参考文献「SAS英陸軍特殊部隊—世界最強のエリート部隊」(L.ネヴィル) 並木書房 2019.12 p164-165

イギリス 歴史

- ◎参考文献「物語イギリスの歴史 下」(君塚直隆) 中央公論新社 2015.5 p240-238
- ◎参考文献「海のかなたのローマ帝国—古代ローマとブリテン島増補新版」(南川高志) 岩波書店 2015.12 p1-18b
- ◎参考文献ほか「消えたイングランド王国」(桜井俊彰) 集英社 2015.12 p236-237
- ◎参考文献「イギリス・ヘリテージ文化を歩く—歴史・伝承・世界遺産の旅」(宮北恵子ほか) 彩流社 2016.7 p6-16b
- ◎参考文献「幽霊とは何か—五百年の歴史から探るその正体」(R.クラーク) 国書刊行会 2016.7 p423-421
- ◎参考文献「イギリスの歴史を知るための50章」(川成洋) 明石書店 2016.12 p345-355
- ◎引用参考文献「縄文とケルト—辺境の比較考古学」(松木武彦) 筑摩書房 2017.5 p244-247
- ◎参考文献ほか「ライフ・プロジェクト—7万人の一生からわかったこと」(H.ピアン) みすず書房 2017.10 p7-20b
- ◎参考文献「興亡の世界史 大英帝国という経験」(井野瀬久美恵) 講談社 2017.12 p407-400
- ◎参考文献ほか「英国公文書の世界史—一次資料の宝宝箱」(小林恭子) 中央公論新社 2018.3 p281-277
- ◎参考文献「大英帝国の歴史 下 絶頂から凋落へ」(N.ファーガン) 中央公論新社 2018.6 p265-254
- ◎参考文献一覧「『海賊』の大英帝国—掠奪と交易の四百年史」(薩摩真介) 講談社 2018.11 p285-300
- ◎文献リスト「ブリティッシュ・ワールド—帝国紐帯の語相」(竹内真人) 日本経済評論社 2019.2 prr
- ◎参考文献「大英帝国は肉食らい—イギリスとその帝国による植民地経営は、いかにして世界各地の食事をつくりあげたか」(E.M.コリンガム) 河出書房新社 2019.3 p25-46b
- ◎参考文献「逆転のイギリス史—衰退しない国家」(玉木俊明) 日本経済新聞出版 2019.7 p262-248
- ◎参考文献「<英国紳士>の生態学—ことばから暮らしまで」(新井潤美) 講談社 2020.1 p207-215
- ◎参考文献抄「イギリス風景式庭園の美学—<開かれた庭>のパラドックス 増補新装」(安西信一) 東京大出版会 2020.5 p15-27b
- ◎参考文献「音楽史に刻まれたロック—英国プログレッシブ・ロックと反体制文化」(E.マックン) 水声社 2020.8 p397-406
- ◎参考文献「図説英国貴族の令嬢 増補新装」(村上リコ) 河出書房新社 2020.12 p131-130
- ◎参考文献「十七世紀イギリス財政史論—「国王私財」と二つの革命」(酒井重喜) ミネルヴァ書房 2021.1 p16-29b
- ◎参考文献「チャリティの帝国—もうひとつのイギリス近現代史」(金澤周作) 岩波書店 2021.5 p13-24b
- ◎参考文献「英国ユダヤ人の歴史」(佐藤唯行) 幻冬舎 2021.7 p204-210
- ◎参考文献「世界を変えた『海賊』の物語—海賊王ヘンリー・エヴリーとグローバル資本主義の誕生」(S.ジョンソン) 朝日新聞出版 2021.7 p357-354
- ◎引用文献目録「『文化』とはなにか—一つの観念の興亡の歴史—

1830-1970 (イギリスにおける)」(荻野昌利) 大阪教育図書 2021.11 p189-191

イギリス 労働党

- ◎参考文献「赤いバラは散らない—英国労働党の興亡」(谷藤悦史) 一藝社 2016.7 p233-232
- ◎資料参考文献「英国労働党の教育政策「第三の道」—教育と福祉の連携」(谷川至孝) 世織書房 2018.2 p341-358
- ◎参考文献ほか「政権交代の政治力学—イギリス労働党の軌跡1994-2010」(今井貴子) 東京大出版会 2018.2 p7-33b
- ◎参考文献「イギリス労働党概史」(本間圭一) 高文研 2021.4 p330-333

イギリス ロンドン

- ◎参考文献「ロンドン歴史図鑑」(C.ロスほか) 原書房 2015.10 p338-340
- ◎参考文献「不潔都市ロンドン—ヴィクトリア朝の都市浄化大作戦」(L.ジャクソン) 河出書房新社 2016.9 p412-398
- ◎参考文献一覧「ロンドン歴史地名辞典」(A.D.ミルズ) 柘風舎 2017.6 p455-456
- ◎参考文献「ロンドン大火—歴史都市の再建」(大橋竜太) 原書房 2017.8 p20-24b
- ◎参考文献ほか「都市再開発から世界都市建設へ—ロンドン・ドックランズ再開発史研究」(川島佑介) 吉田書店 2017.12 p229-238
- ◎参考文献「図説呪われたロンドンの歴史」(J.D.ライト) 原書房 2018.2 p276-277
- ◎参考文献「大都会の誕生—ロンドンとパリの社会史」(喜安朗ほか) 筑摩書房 2018.4 prr
- ◎参考文献「お買い物は楽しむため—近現代イギリスの消費文化とジェンダー」(E.D.ラバポート) 彩流社 2020.3 p93-140b
- ◎参考文献「不思議の国のロンドン」(白井雅美) P1IPエディターズ・グループ 2020.6 5pb

イギリス ロンドン・ナショナル・ギャラリー

- ◎参考文献「ロンドン・ナショナル・ギャラリー展」(川瀬佑介ほか) 読売新聞東京本社 2020.3 p319-328
- ◎引用参考資料「ロンドン・ナショナル・ギャラリー—名画がささやく激動の歴史」(細川祐子) 明石書店 2020.11 p458-447

イギリス 国教会

- ◎さらに学びたい人のために「キリスト者として生きる—洗礼、聖書、聖餐、祈り」(R.ウィリアムズ) 教文館 2021.2 p126-128

イギリス人

- ◎文献「異郷のイギリス—南アフリカのプリティッシュ・アイデンティティ」(堀内隆行) 丸善出版 2018.9 p273-241 (10-42b)

育英事業 ⇒奨学金 を見よ

育児

- ◎参考文献「フランス人は子どもにふりまわされない—心穏やかに子育てするための100の秘密」(P.ドラッカーマン) CCCメディアハウス 2015.3 p188-189
- ◎リスト「学校と一緒に安心して子どもを育てる本—小学生保護者の心得」(多賀一郎) 小学館 2016.3 p246-247
- ◎ブックガイド「0〜5歳子どもを育てる『読み聞かせ』実践ガイド—よくわかる! 絵本の選び方・読み方」(児玉ひろ美) 小学館 2016.4 p55-61,101-113
- ◎参考文献ほか「育児言説の社会学—家族・ジェンダー・再生産」(天童睦子) 世界思想社 2016.4 p213-199
- ◎文献「『オトコの育児』の社会学—家族をめぐる喜びとまどい」(工藤保則ほか) ミネルヴァ書房 2016.5 prr
- ◎参考文献「出産・子育てのナラティブ分析—日本人女性の声にみる生き方と社会の形」(秦かおりほか) 大阪大出版会 2017.1 p276-281
- ◎引用文献「子育てに効くマインドフルネス 親が変わり、子どもも変わる」(山口創) 光文社 2017.4 p190-193
- ◎参考文献「ワンオペ育児—わかってほしい休めない日常」(藤田結子) 毎日新聞出版 2017.6 p213-215
- ◎参考文献「『きたない子育て』はいいことだらけ! 文夫で賢い子どもを育てる腸内細菌教室」(B.フィンレーほか) プレジデント社 2017.11 p360-365
- ◎引用文献「イクメンじゃない「父親の子育て」—現代日本における父親の男らしさと「ケアとしての子育て」」(巽真理子) 見洋書房 2018.5 p3-12b
- ◎参照文献「子どもが教えてくれた世界—家族社会学者と息子と猫と」(片岡佳美) 世界思想社 2018.10 p143-146
- ◎参考文献「乳母の文化史—19世紀イギリス社会に関する一考察」(中田元子) 人文書院 2019.1 p278-264
- ◎引用文献「共有する子育て—沖縄多良間島のアロマゼリングに学

- ◎引用参考文献『旧石器時代から縄文時代への転換—土器が出現する頃の文化変動』(白石浩之) 雄山閣 2021.5 p325-350
- ◎参考文献『縄文語の発見 新版』(小泉保) 青土社 2021.5 p269-276
- 文献目録『縄文時代 32』(縄文時代文化研究会) 2021.5 p214-306
- ◎参考文献『縄文神社—首都圏篇』(武藤郁子) 飛鳥新社 2021.6 p190-191
- ◎参考文献『考古学者の思考法』(安齋正人) 同成社 2021.7 prr
- ◎引用参考文献『東京に生きた縄文人』(東京都江戸東京博物館) TOTO出版 2021.10 p148-152
- ◎参考文献『イヌと縄文人—狩猟の相棒、神へのイケニエ』(小宮孟) 吉川弘文館 2021.12 p194-209

縄文土器

- ◎引用参考文献『縄文時代後・晩期土器編年の研究—加曾利B式〜安行式土器群の変遷』(新屋雅明) 六一書房 2015.6 p241-251
- ◎引用参考文献『縄文土器の系統学—型式編年研究の方法論的検討と実践』(安達香織) 慶應義塾大出版会 2016.4 p143-153
- ◎参考文献『土器編年にみる西日本の縄文社会』(矢野健一) 同成社 2016.5 p423-447
- ◎引用参考文献『押型紋土器の広域編年研究—縄文時代早期』(岡本東三) 雄山閣 2017.9 p299-322
- ◎参考文献『進化する縄文土器—流れるもようとう区画もよう—平成29年度長野県立歴史館秋季企画展』(長野県立歴史館) 信毎書籍出版センター 2017.9 p130-131
- ◎参考文献『九州の縄文時代早期後葉の文化—平橋式・塞ノ神式併行の土器を中心に—発表要旨・資料集』(佐賀大会事務局) 九州縄文研究会 2018.3 prr
- ◎参考文献『中四国地方の外來系土器—発表資料集・集成資料集—第29回中四国縄文研究会島根大会』(島根大会実行委員会) 中四国縄文研究会 2018.5 prr
- ◎参考文献『縄文土器・土偶』(井口直司) KADOKAWA 2018.6 p212-213
- ◎参考文献『縄文時代前期の広域土器編年とその展望—諸磯式土器を中心として』(松田光太郎) 六一書房 2020.10 p506-539

生薬学

- ◎参考書『パートナー生薬学 改訂3版』(竹谷孝一ほか) 南江堂 2017.3 p420-421
- ◎参考文献『生薬単 語源から覚える植物学・生薬学名単語集 ギリシヤ語・ラテン語 改訂3版』(原島広至) 丸善雄松堂 2017.12 p357-360
- ◎参考書『パートナー生薬学 改訂3版増補』(竹谷孝一ほか) 南江堂 2018.2 p422-423
- ◎参考文献『訂補薬性提要解説』(森由雄) 源草社 2020.3 p158-159

醤油

- ◎文献一覧『ものとの文化史 180 醤油』(吉田元) 法政大出版局 2018.3 p259-266
- ◎参考文献『しょうゆの不思議—世界を駆ける調味料 改訂2版』(東成社) 日本醤油協会 2019.3 p208-209

常用漢字

- ◎参考文献『常用漢字の歴史—教育、国家、日本語』(今野真二) 中央公論新社 2015.9 p259-261

条里制

- 関係文献目録『条里制・古代都市研究 31』(条里制・古代都市研究会) 2015 p100-110
- ◎文献案内『関東条里の研究』(関東条里研究会) 東京堂出版 2015.3 p120-129
- ◎参考文献『古代の都市と条里』(条里制・古代都市研究会) 吉川弘文館 2015.4 p324-334
- ◎参考文献『大化の改新は身近にあった—公地制・天皇・農業の一新』(河野通昭) 和泉書院 2015.5 p465-473
- 文献目録『条里制・古代都市研究 32』(条里制・古代都市研究会) 2016 p136-146
- ◎参考文献『古代国家の土地計画—条里プランを読み解く』(金田章裕) 吉川弘文館 2018.1 p239-244
- 文献目録『条里制・古代都市研究 34』(条里制・古代都市研究会) 2019.3 p136-146
- 文献目録『条里制・古代都市研究 35』(条里制・古代都市研究会) 2020.3 p126-140

蒸留

- ◎参考文献『トコトンやさしい蒸留の本』(大江修造) 日刊工業新聞社 2015.9 p155-156

- 文献一覧『分離技術 47.3.257』(分離技術会) 2017.5 p186-189
- ◎参考文献『蒸留技術大全』(大江修造) 日刊工業新聞社 2017.12 p375-381
- 文献一覧『(山本雄大)』(分離技術 48.3.263) (分離技術会) 2018.5 p48-50,63 (200-202,215)

蒸留酒

- ◎参考文献『ラム酒の歴史』(R.フォス) 原書房 2018.8 p181-182
- ◎引用文献『テキーラとメスカール—同じ起源をもつアガベ・スピリッツ』(S.ポーウェン) ミネルヴァ書房 2021.6 p9-32b

浄瑠璃

- 刊行一覧『文楽床本集 奥州安達原 紅葉狩』(国立劇場) 日本芸術文化振興会 2015.12 p18-35b
- 目録稿『久保田啓一ほか』(鯉城往来 19) (広島近世文学研究会) 2016 p105-118
- ◎典拠作一覧『時代物浮世草子論—江島其碩とその周縁』(宮本祐規子) 笠間書院 2016.2 p288-312
- ◎参考文献『河東節三百年』(竹内道敏) 制作: 東洋書院 2017.9 p262-263
- 目録稿『久保田啓一ほか』(鯉城往来 20) (広島近世文学研究会) 2017.12 p139-147
- 目録稿『久保田啓一』(鯉城往来 22) (広島近世文学研究会) 2019.1 p87-91

条例

- ◎文献目録『憲法の視点から見る条例立案の教科書』(松村享) 第一法規 2017.3 p171-173
- ◎参考文献『ケースで学ぶ立法事実—条例づくりのきほん』(田中孝男) 第一法規 2018.3 p199-201
- ◎参考文献『自治立法綱要』(石毛正純) ぎょうせい 2018.10 p1-5f
- ◎参考文献『立法分権のすすめ—地域の実情に即した課題解決へ』(磯崎初仁) ぎょうせい 2021.9 p279-287

昭和時代

- ◎参考文献『佐高信の昭和史』(佐高信) KADOKAWA 2015.1 p300-302
- ◎参考文献ほか『昭和で失われたもの』(伊藤嘉一) 創森社 2015.2 p165-166
- ◎参考引用文献『モノと子どもの昭和史』(天野正子ほか) 平凡社 2015.3 p330-343
- ◎参考文献『昭和立憲制の再建—1932-1945年』(米山忠寛) 千倉書房 2015.3 p345-359
- ◎参考文献『昭和「娯楽の殿堂」の時代』(三浦展) 柏書房 2015.5 p172-174
- ◎参考文献『昭和時代 敗戦・占領・独立』(読売新聞) 中央公論新社 2015.5 p553-579
- ◎参考引用文献『食べかた上手だった日本人—よみがえる昭和モダン時代の知恵』(魚柄仁之助) 岩波書店 2015.8 p7-9b
- ◎参考文献『戦争の罅—軍国・皇国・神国のゆくえ』(川村淡) 白水社 2015.8 p319-321
- ◎参考文献『戦後の貧民』(塩見鮮一郎) 文藝春秋 2015.9 p210-212
- ◎引用文献『戦後入門』(加藤典洋) 筑摩書房 2015.10 p619-628
- ◎参考文献『大政翼賛会への道—近衛新体制』(伊藤隆) 講談社 2015.12 p244-247
- ◎引用参考文献『「平和国家」の誕生—戦後日本の原点と変容』(和田春樹) 岩波書店 2015.12 p227-233
- ◎参考文献『ひとびとの精神史 6 日本列島改造—1970年代』(杉田敦) 岩波書店 2016.1 prr
- ◎参考文献ほか『拳銃伝説—昭和史を撃ち抜いた一丁のモーゼルを追って』(大橋義輝) 共栄書房 2016.1 p176-178
- ◎参考文献一覧『(戦後の音楽文化)』(戸ノ下達也) 青弓社 2016.1 p297-298
- ◎参考文献『B面昭和史—1926→1945』(半藤一利) 平凡社 2016.2 p596-598
- ◎参考文献『戦前の日本—教科書には載っていない!』(武田知弘) 彩図社 2016.2 p252-254
- ◎参考引用文献『昭和維新—日本改造を目指した“草莽”たちの軌跡』(田中健之) 学研プラス 2016.3 p574-579
- ◎引用文献ほか『未完の占領改革—アメリカ知識人と捨てられた日本民主化構想 増補新装版』(油井大三郎) 東京大出版会 2016.3 p1-7b
- ◎引用文献『はじまりの戦後日本—激変期をさまよう人々』(橋本健二) 河出書房新社 2016.4 p252-254
- ◎参考文献『ニックネームで振り返る野球昭和史』(澤宮優) ベースボール・マガジン社 2016.5 p334-335

- ◎参考文献『昭和史』(古川隆久) 筑摩書房 2016.5 p379-386
- ◎参考文献『昭和の戦争—日記で読む戦前日本』(井上寿一) 講談社 2016.6 p245-250
- ◎参考文献『教養としての戦後(平和論)』(山本昭宏) イースト・プレス 2016.8 p221-223
- ◎参考文献『昭和時代 1980年代』(読売新聞) 中央公論新社 2016.8 p483-501
- ◎参考文献『昭和なつかし食の人物誌』(磯辺勝) 平凡社 2016.9 p227-231
- ◎参考文献『<もの派>の起源—石子順造・李禹煥・グループ<幻触>がはたした役割』(本阿弥清) 水声社 2016.11 p249-251
- ◎参考文献『「月給100円サラリーマン」の時代—戦前日本の(普通)の生活』(岩瀬彰) 筑摩書房 2017.2 p285-290
- ◎参考文献『航空から見た戦後昭和史—ビートルズからマッカーサーまで』(夫馬信一) 原書房 2017.2 p305-300
- ◎参考文献『日本近代の歴史 6 総力戦のなかの日本政治』(源川真希) 吉川弘文館 2017.3 p233-247
- ◎参考文献『はじめての日本現代史 学校では“時間切れ”の通史』(伊勢弘志ほか) 芙蓉書房出版 2017.4 p367-369
- 文献ほか『感性文化論—「終わり」と「はじまり」の戦後昭和史』(渡辺裕) 春秋社 2017.4 p21-33b
- ◎参考引用文献『暗い時代の人々』(森まゆみ) 亜紀書房 2017.5 p288-294
- ◎引用参考文献『軍が警察に勝った日 昭和八年ゴー・ストップ事件』(山田邦紀) 現代書館 2017.5 p223-226
- ◎参考文献一覧『会社苦いかしょっぱいか—社長と社員の日本文化史』(バオロ・マツァリアーノ) 春秋社 2017.6 p229-243
- ◎参考文献『感性的昭和文壇史』(野口富士男) 講談社 2017.7 p477-484
- ◎参考文献『昭和史講義 3 リーダーを通して見る戦争への道』(筒井清忠) 筑摩書房 2017.7 prr
- ◎参考文献『迷宮歴史倶楽部 戦時下日本の事物画報』(モリナガヨウ) 学研プラス 2017.8 prr
- ◎参考文献『歴史としての大衆消費社会—高度成長とは何だったのか?』(寺西重郎) 慶應義塾大出版会 2017.8 p355-369
- ◎参考文献『新聞集成昭和編年史 昭和39年版 5 東京オリンピック—自九月〜十月』(明治大正昭和新聞研究会) 新聞資料出版 2018.2 3pf
- ◎参考文献『世界史のなかの昭和史』(半藤一利) 平凡社 2018.2 p460-462
- ◎参考文献一覧『昭和ノスタルジー解体—「懐かしさ」はどう作られたのか』(高野光平) 晶文社 2018.4 p362-375
- ◎参考文献資料『「反日」という病—GHQ・メディアによる日本人洗脳(マインド・コントロール)を解く』(木佐芳男) 幻冬舎 2018.5 p363-374
- ◎参考文献『昭和陸軍の研究 下』(阪正康) 朝日新聞出版 2018.6 p573-575
- ◎参考文献『昭和史講義 軍人篇』(筒井清忠) 筑摩書房 2018.7 prr
- ◎参考文献『戦後日本の復興の記録—GHQカメラマンボリアが撮った日本の風景 下』(杉田米行) 大学教育出版 2018.7 p139-140
- ◎参考文献『日中戦争—前線と銃後』(井上寿一) 講談社 2018.7 p256-260
- ◎参考文献『佐高信の昭和史』(佐高信) KADOKAWA 2018.8 p331-334
- ◎参考文献『楽しき哀しき昭和の子ども史』(小泉和子) 河出書房新社 2018.11 p173-175
- ◎参考文献『B面昭和史—1926-1945』(半藤一利) 平凡社 2019.2 p653-655
- ◎引用文献『戦時・占領期における映像の生成と反復—メディアの生み出す社会的記憶』(原田健一) 知泉書館 2019.2 p4-13b
- ◎参考文献『新聞集成昭和編年史 昭和40年 5 第50回「日韓国会」—自9月〜10月』(明治大正昭和新聞研究会) 新聞資料出版 2019.4 3pf
- ◎参考資料『語り継ぐ昭和平成の時代—戦後74年のはじめて年表』(清水直人) 里文出版 2019.5 p408-409
- ◎読書案内『令和を生きるための昭和史入門』(阪正康) 文藝春秋 2019.6 p278-302
- ◎参考文献『昭和史講義 戦前文化人篇』(筒井清忠) 筑摩書房 2019.7 prr
- ◎引用参考文献『戦後日本文化再考』(坪井秀人) 三人社 2019.10 prr
- ◎参考文献『論点別昭和史—戦争への道』(井上寿一) 講談社 2019.11 p239-248

- ◎参考文献一覧『大東亜』を建設する—帝国日本の技術とイデオロギー』(A.S.モーフ) 人文書院 2019.12 p363-339
- ◎参考引用文献『英国人記者が見抜いた戦後史の正体』(H.S.ストークス) SBクリエイティブ 2020.1 p195-196
- ◎『昭和史がわかるブックガイド』(文春新書) 文藝春秋 2020.5 287p 17×11cm
- ◎参考文献『世界史のなかの昭和史』(半藤一利) 平凡社 2020.7 p513-515
- ◎参考文献『はじめての昭和史』(井上寿一) 筑摩書房 2020.8 p214-220
- ◎参考文献『昭和史講義 戦後篇 上』(筒井清忠) 筑摩書房 2020.8 prr
- ◎参考文献抄『昭和精神史』(桶谷秀昭) 扶桑社 2020.8 p673-679
- ◎参考文献一覧『帝国陸海軍の戦後史—その解体・再編と旧軍エリート』(山縣大樹) 九州大出版会 2020.9 p253-266
- ◎参考文献『わが青春の上社会—昭和を生きた洋画家たち』(豊田市美術館) 2020.10 p194-197
- ◎参考文献『戦後文学のみたく高度成長』(伊藤正直) 吉川弘文館 2020.11 p214-221
- ◎引用参考文献『「象徴」のいる国で』(菊地史彦) 作品社 2020.12 p401-418
- ◎『帝国日本雑誌新聞経路カタログ—紙メディアの昭和戦前期1932年版』(小林昌樹) 金沢文圃閣 2021.1 2冊 A5
- ◎参考文献『さまよえる絵筆—東京・京都戦時下の前衛画家たち』(弘中智子ほか) みすず書房 2021.2 p200-204
- ◎参考文献『近代日本宗教史 5 敗戦から高度成長へ—敗戦〜昭和中期』(島面進ほか) 春秋社 2021.3 prr
- ◎『昭和史の本棚』(阪正康) 幻戯書房 2021.4 269p B6
- ◎参考文献『近代日本宗教史 4 戦争の時代—昭和初期〜敗戦』(島面進ほか) 春秋社 2021.5 prr
- ◎参考文献『昭和精神史 戦後篇』(桶谷秀昭) 扶桑社 2021.5 p492-500
- ◎参考文献『日本の戦争財政—日中戦争・アジア太平洋戦争の財政分析』(関野満夫) 中央大出版部 2021.7 p263-267
- ◎一覧『分断のニッポン史—ありえたかもしれない敗戦後論』(赤上裕幸) 中央公論新社 2021.8 p285-270
- ◎参考文献『戦中・戦後日本の「国家意識」とアジア—常民の視座から』(遠藤薫) 勁草書房 2021.10 prr
- ◎参考文献『帝国の計画とファシズム—革新官僚、満洲国と戦時下の日本国家』(J.ミムラ) 人文書院 2021.11 p277-306

書家

- ◎参考文献『近世・近代の著名書家による石碑集成 日下部鳴鶴/巖谷一六/金井金洞ら28名全1500基』(林淳) 勝山城博物館 2017.4 p320-330
- ◎参考文献『もっと知りたい「臨書」の世界—歴代名家100—一人は古典をいかに理解し継承したか』(遠藤昌弘) 匠出版 2018.4 p222-224
- ◎history『〇い声〇い声—近現代書家対談集』(金田石城) 美術新聞社 2020.10 2pb

書画

- ◎参考文献(西野航ほか)『石を愛でる—盆石書画の世界—日比義也コレクション受贈記念』早稲田大 2018.11 p72-75

書簡文

- ◎参考文献『幕末志士の手紙』(木村幸比古) 教育評論社 2015.10 p216-219
- ◎参考文献『手紙 その消えゆく世界をたどる旅』(S.ガーフィールド) 柏書房 2015.12 p546-547
- ◎参考文献『戦地からのラブレター—第一次世界大戦従軍兵から、愛するひとへ』(J.P.ゲノ) 亜紀書房 2016.10 p236-237
- ◎引用文献『文豪に学ぶ手紙のことばの選びかた』(中川越) 東京新聞 2016.10 p210-213
- ◎参考文献『中世の声と文字—親鸞の手紙と「平家物語」』(大隅和雄) 集英社 2017.1 p186-187
- ◎参考文献一覧ほか『近代日本女性書簡文の表現史研究』(茗荷円) おうふう 2017.12 p538-546
- ◎参考文献紹介『ネット時代の手紙学』(宮田穰) 北樹出版 2019.7 p243-257

食育

- ◎参考文献ほか『子どものための味覚教育—ビュイゼ 食育入門編』(石井枝枝ほか) 講談社 2016.11 p201-205
- ◎文献『情動学シリーズ 7 情動と食—適切な食育のあり方』(二宮くみ子ほか) 朝倉書店 2017.2 prr
- ◎本『食育の本 「食育」のすべてがわかる! 新版』(服部幸應)

- ◎参考文献「つながりを科学する地域コミュニティブランド」(星合隆成) 木楽舎 2018.10 p272-275
- ◎引用文献「地域ブランド活用による高付加価値化の取組と今後の展開—地理的表示等の活用と消費者評価」農林水産政策研究所 2020.8 prr
- ◎参考文献「地域ブランドのグローバル・デザイン」(薄上二郎) 白桃書房 2020.11 p205-210

地域包括ケア

- ◎参考文献「地域包括ケアシステムのすすめ—これからの保健・医療・福祉」(豊島泰子ほか) ミネルヴァ書房 2016.4 p253-255
- ◎文献「地域包括ケアと福祉改革」(二本立) 勁草書房 2017.3 prr
- ◎参考文献「介護予防・地域包括ケアと主体間連携」(平岩和美) 大学教育出版 2017.10 p217-231
- ◎文献「まちづくりとしての地域包括ケアシステム—持続可能な地域共生社会をめざして」(辻哲夫) 東京大出版会 2017.12 prr
- ◎文献「はじめてのケア論」(三井さよ) 有楽閣 2018.11 p217-221
- ◎文献「地域包括ケアと医療・ソーシャルワーク」(二本立) 勁草書房 2019.1 prr
- ◎参考文献「地域包括ケアとエリアマネジメント—データの見える化を活用した健康まちづくりの可能性」(佐無田光ほか) ミネルヴァ書房 2019.3 prr
- ◎参考引用文献「ひとりで最も最後まで自宅で」(森清) 教文館 2019.7 p178-180
- ◎参考文献「筒井孝子論考集—地域包括ケアシステムの理論と政策」(筒井孝子) カイ書林 2020.3 prr
- ◎参考文献「地域包括ケアのまちづくり—老いても安心して住み続けられる地域を目指す総合的な試み」(東京大) 東京大出版会 2020.9 p255-256
- ◎引用参考文献「地域包括支援体制のいま—保健・医療・福祉が進める地域づくり」(黒田研二) ミネルヴァ書房 2020.12 prr
- ◎文献「都市高齢者の介護・住まい・生活支援—福祉地理学から問い直す地域包括ケアシステム」(宮澤仁) 明石書店 2021.9 prr

地域連携

- ◎参考文献「アートの力と地域イノベーション—芸術系大学と市民の創造的協働」(本田洋一) 水曜社 2016.3 p171-177

地衣類

- 文献目録(坂田歩美ほか)「Lichenology 13.1」(日本地衣学会) 2015 p19-40
- 文献目録(坂田歩美ほか)「Lichenology 17.1」(日本地衣学会) 2018.7 p17-30
- ◎参考文献「キノコと地衣類—菌類って不思議!」栃木県立博物館 2019.7 p54-55
- ◎引用文献「日本の地衣類—日本産地衣類の全国産地総目録」(山本好和) 三恵社 2020.8 p253-272
- 文献目録(坂田歩美)「Lichenology 19.1」(日本地衣学会) 2020.12 p35-46

チェコ

- ◎邦訳作品一覧「チェコスロバキア短編小説集」(J.J.オルシャ) 平凡社 2018.10 p398-402
- ◎参考文献(L.ヴルチコヴァーほか)「チェコ・デザイン100年の旅」(H.ケーニクスマルコヴァーほか) イデップ c2019 p224-225
- ◎参考文献一覧「チェコ・ゴシックの輝き—ベストの間から生まれた中世の光」(石川達夫) 成文社 2021.9 p172-168 (19-23b)

チェコ 経済

- ◎参考文献「チェコ・スロバキア経済図説」(池本修一ほか) 東洋書店 2015.2 p62-63
- ◎参考文献「チェコの体制転換プロセスと直接投資」(池本修一) 文真堂 2015.3 prr

チェコ ブラハ

- ◎参考文献「ブラハのバロック—受難と復活のドラマ」(石川達夫) みすず書房 2015.3 p266-271
- ◎参考文献「ブラハ、二〇世紀の首都—あるシュルレアリスム的な歴史」(D.セイヤー) 白水社 2018.10 p30-59b
- ◎参考資料ほか「ブラハの子ども像—ナチス占領下の悲劇」(早乙女勝元) 新日本出版社 2018.12 p120-121,217-218

チェコ 歴史

- ◎参考文献「黒いチェコ」(増田幸弘) 彩流社 2015.9 p200-202
- ◎参考文献「政治的一体性と政党間競合—20世紀初頭チェコ政党政治の展開と変容」(中根一貴) 吉田書店 2018.3 p221-239
- ◎参考文献「図説チェコとスロヴァキアの歴史」(薩摩秀登) 河出書房新社 2021.10 p126-127

チェコ・スロバキア

- ◎参考文献一覧「テレジンの子どもたちから—ナチスに隠れて出された雑誌「VEDEM」より 改訂新装」(林幸子) 新評論 2021.6 p245-246
- ◎史料文献リスト「チェコスロヴァキア軍団—ある義勇軍をめぐる世界史」(林忠行) 岩波書店 2021.7 p6-14b

チェチェン

- ◎参考文献「チェチェン—平和定着の挫折と紛争再発の複合的メカニズム」(富樫耕介) 明石書店 2015.12 p385-410
- ◎参考引用文献「「チェチェン化」するロシア—ポスト・ブーチン論序説」(真野森作) 東洋書店新社 2021.9 p282-283

チェロ

- ◎参考文献「チェロの100年史—1740～1840年の技法と演奏実践」(V.ウォルデン) 道和書院 2020.5 p368-375

チェーンストア

- ◎参考文献「居酒屋チェーン戦国史」(中村芳平) イースト・プレス 2018.10 p269-271

「チェンチー族」

- ◎引用文献「チェンチー族—五幕から成る悲劇」(P.B.シェリー) 音羽書房鶴見書店 2018.5 p246-245

地価

- ◎参考文献「新説土地価格の経済学 地代と地価の関係であるP0=ri/iが不成立の解明」(山本一清) 住宅新報社 2017.3 p441-442

知覚

- ◎参考文献「人の顔または表情の識別について 下 知覚論的諸問題」(池田進) 関西大出版部 2015.2 p388-395
- ◎文献「画像と知覚の哲学—現象学と分析哲学からの接近」(小熊正久ほか) 東信堂 2015.11 prr
- ◎引用文献「描画と痕跡—表面における表現の発生」(西崎実穂) 多賀出版 2015.12 p119-129
- ◎参考文献「脳は、なぜあなたをだますのか—知覚心理学入門」(妹尾武治) 筑摩書房 2016.8 p208-213
- ◎文献「質感の科学—知覚・認知メカニズムと分析・表現の技術」(小松英彦) 朝倉書店 2016.10 prr
- ◎文献一覧「知覚経験の生態学—哲学へのエコロジカル・アプローチ」(染谷昌義) 勁草書房 2017.1 p11-23b
- ◎引用文献「ポテンシャル知覚心理学」(中村浩ほか) サイエンス社 2017.4 p189-199
- ◎文献一覧「知覚と判断の境界線—「知覚の哲学」基本と応用」(源河亨) 慶應義塾大出版会 2017.4 p6-17b
- ◎引用文献「バクションとは何だ!?!」(妹尾武治) 共立出版 2017.5 p95-105
- ◎参考文献「感応の呪文—(人間以上の世界)における知覚と言語」(D.エイブラム) 論創社 2017.9 p391-398
- ◎文献「身体とアフォーダンス—ギブソン「生態学的知覚システム」から読み解く」(染谷昌義ほか) 金子書房 2018.4 p1-6b
- ◎文献「感覚・知覚心理学」(行場次朗) 北大路書房 2018.11 p206-213
- ◎参考引用文献「視野と奥行知覚に関する研究」(太田雅夫) 風間書房 2018.12 p125-131
- ◎引用参考文献「味わいの現象学—知覚経験のマルチモダリティ」(村田純一) おねうま舎 2019.3 p313-320
- ◎引用文献「知覚-身体的リアリティの諸相—感覚間統合から社会的ネットワークまで」(太城敦良ほか) ユニオンプレス 2019.5 prr
- ◎引用文献「アニメーションの心理学」(横田正夫) 誠信書房 2019.9 prr
- ◎参考文献(佐古仁志)「食(メシ)の記号論—食は幻想か?」(日本記号学会) 新曜社 2020.6 p189-190

地学

- ◎読んでみよう【玉川百科こども博物誌 9 空と海と大地】(目代邦康) 玉川大出版部 2019.1 p154-157
- ◎参考文献「やりなおし高校地学—地球と宇宙をまるごと理解する」(鎌田浩毅) 筑摩書房 2019.9 p11-15b
- ◎参考文献「怖くて眠れなくなる地学」(左巻健男) PHPエディターズ・グループ 2020.6 p234-236

地殻変動

- ◎引用文献「海に沈んだ大陸の謎—最新科学が解き明かす激動の地球史」(佐野貴司) 講談社 2017.7 p234-230

地下構造物

- ◎参考文献「アンダーランド—記憶、隠喩、禁忌の地下空間」(R.マクファーレン) 早川書房 2020.11 p521-503 (22-40b)
- ◎参考文献「図説世界地下名所百科—イスタンブールの沈没宮殿、メ

- キシコの麻薬密輸トンネルから首都圏外郭放水路まで」(C.フィッチ) 原書房 2021.2 p220-221

地下水

- ◎文献「自然地下水調査法—日本国内863箇所の地下水温」(竹内篤雄) 近未来社 2017.3 p195-197
- ◎参考文献「名水学ことはじめ—自然・人文科学の観点から」(河野忠) 昭和堂 2018.2 prr
- ◎参考引用文献「日本の地下水政策—地下水ガバナンスの実現に向けて」(千葉知世) 京都大学術出版会 2019.3 p327-348
- ◎参考文献「地下水モデル—実践的シミュレーションの基礎 2版」(M.P.Andersonほか) 共立出版 2019.6 prr
- ◎参考文献ほか「熊本学としての熊本地下水研究—多様性の視座」(福田光治) 発売:熊日出版 2019.9 p114-117
- ◎参考文献「環境保全のための地下水水質化学—地球化学,地下水および汚染 上」(C.A.J.アペロほか) 九州大出版会 2021.5 prr

地下鉄

- ◎参考文献一覧「「地下鉄」で読み解く江戸・東京」(富増章成) PIIP 研究所 2015.11 p292-293
- ◎参考文献「首都東京地下鉄の秘密を探る—歴史・車両・駅から見た地下路線網」(渡部史絵) 交通新聞社 2015.12 p236-238
- ◎参考資料「世界の美しい地下鉄マップ—166都市の路線図を愉しむ」(M.オーブندان) 日経ナショナルジオグラフィック社 2016.10 p174-175
- ◎参考文献ほか「日本縦断! 地下鉄の謎」(小佐野カゲトシ) 実業之日本社 2016.12 p222-223
- ◎参考文献「東京の地下鉄路線網はどのようにつくられたのか」(東京地下鉄研究会) 洋泉社 2017.2 p206-207
- ◎参考文献「地下鉄の駅はものすごい」(渡部史絵) 平凡社 2020.5 p261-260

地下鉄サリン事件

- ◎参照文献ほか「サリンそれぞれの証」(木村晋介) 本の雑誌社 2015.3 p268-270

チガヤ

- ◎引用参考文献「葦」(柳沢直ほか) 農山漁村文化協会 2018.8 p139-141

カ石

- ◎文献「カ石を詠む 10」(高島嶺助ほか) 岩田書院 2020.4 p150-153

痴漢

- ◎参考文献「痴漢外来—性犯罪と闘う科学」(原田隆之) 筑摩書房 2019.10 p1-10b
- ◎参考文献「痴漢とはなにか—被害と冤罪をめぐる社会学」(牧野雅子) エトセトラブックス 2019.11 p248-253

地球

- ◎参考文献「地質学でわかる! 恐竜と化石が教えてくれる世界の成り立ち」(芝原暁彦) 実業之日本社 2018.1 p190-191
- ◎参考図書「生命の惑星—ビッグバンから人類までの地球の進化 上」(C.H.ラングミュアーほか) 京都大学術出版会 2021.6 prr
- ◎参考文献「宇宙からの地球観測—地球物理量の計測原理」(島田政信) 東京電機大出版局 2021.9 prr

地球温暖化

- ◎参考文献「シベリア—温暖化する極北の水環境と社会」(楡山哲成ほか) 京都大学術出版会 2015.3 prr
- ◎参考文献「地球環境システム—温室効果気体と地球温暖化」(中澤高清ほか) 共立出版 2015.5 p245-270
- ◎参考文献「クライメート・ジャスティス—温暖化対策と国際交渉の政治・経済・哲学」(明日香壽川) 日本評論社 2015.9 p161-181
- ◎引用文献「地球はもう温暖化していない—科学と政治の大転換へ」(深井有) 平凡社 2015.10 p247-236
- ◎文献「シベリア環境政策の新地平 2 気候変動政策のダイナミズム」(大沼あゆみほか) 岩波書店 2015.12 prr
- ◎参考文献「ホッケースティック幻想—「地球温暖化説」への異論」(A.W.モントフォード) 第三書館 2016.4 p427-445
- ◎文献ほか「地球温暖化は解決できるのか—パリ協定から未来へ!」(小西雅子) 岩波書店 2016.7 p181-182
- ◎参考文献「気候の暴走—地球温暖化が招く過酷な未来」(横山裕道) 花伝社 2016.8 p242-244
- ◎参考文献「重複レジームと気候変動交渉—米中対立から協調、そして「パリ協定」へ」(鄭方婷) 現代図書 2017.3 p185-204
- ◎参考文献「海の温暖化—変わりゆく海と人間活動の影響」(日本海洋学会) 朝倉書店 2017.7 p141-149
- ◎参考文献「脱「原発・温暖化」の経済学」(明日香壽川ほか) 中央

経済社 2018.2 prr

- ◎参考文献「激甚化する水害—地球温暖化の脅威に挑む」(気候変動による水害研究会) 日経BP社 2018.3 prr
- ◎参考文献ほか「地球温暖化と社会イノベーション 改訂」(六川修一ほか) 放送大教育振興会 2018.3 prr
- ◎参考文献「絵でわかる地球温暖化」(渡部雅浩) 講談社 2018.6 p180-182
- ◎文献「気候正義—地球温暖化に立ち向かう規範理論」(宇佐美誠) 勁草書房 2019.1 prr
- ◎参考文献ほか「地図とデータで見る気象の世界ハンドブック」(F.M.ブレオン) 原書房 2019.9 p169-170
- ◎参考文献「地球温暖化「CO2犯人説」は世紀の大ウソ」(丸山茂徳ほか) 宝島社 2020.2 p387-396
- ◎参考文献「温暖化に挑む海洋教育—呼応的かつ活動的に」(田中智志) 東信堂 2020.3 prr
- ◎参考文献「追いつめられる海」(井田徹治) 岩波書店 2020.4 p1-3b
- ◎参考文献ほか「地球温暖化と日本の農業—気温上昇によって私たちの食べ物が変わる!」(農業・食品産業技術総合研究機構) 成山堂書店 2020.6 p175-180
- ◎参考文献ほか「「脱炭素化」はとまらない!—未来を描くビジネスのヒント」(江田健二ほか) 成山堂書店 2020.8 p152-156
- ◎引用文献ほか「南極と北極—地球温暖化の視点から」(山内恭) 丸善出版 2020.12 p175-182
- ◎おすすめの本「気候変動から世界をまもる30の方法—わたしたちのクライメート・ジャスティス!」(国際環境NGO FoE Japan) 合同出版 2021.1 p170-173
- ◎参考文献「気候変動への「適応」を考える—不確実な未来への備え」(藤岡靖明) 丸善出版 2021.1 p191-196
- ◎文献案内「気候崩壊—次世代とともに考える」(宇佐美誠) 岩波書店 2021.6 p85-86
- ◎文献情報「極端豪雨はなぜ毎年のように発生するのか—気象のしくみを理解し、地球温暖化との関係をさぐる」(川瀬宏明) 化学同人 2021.8 p226-220
- ◎参考文献「気候安全保障—地球温暖化と自由で開かれたインド太平洋」(笹川平和財団海洋政策研究所) 東海教育研究所 2021.9 p27-28,41-44,212-215
- ◎参考文献「南極の水に何がか起きているか—気候変動と氷床の科学」(杉山慎) 中央公論新社 2021.11 p197-194

地球化学

- ◎参考文献「地球とヒトと微生物—身近で知らない驚きの関係」(山中健生) 技術評論社 2015.5 p263-265
- ◎文献「微生物の地球化学—元素循環をめぐる微生物学」(T.フェンチュルほか) 東海大出版部 2015.6 p207-237
- ◎引用文献「環境化学」(坂田昌弘) 講談社 2015.10 p254-260
- ◎引用文献「分子地球化学」(高橋嘉夫) 名古屋大出版会 2021.2 prr

地球科学

- ◎参考文献「地球科学の開拓者たち—幕末から東日本大震災まで」(諏訪兼位) 岩波書店 2015.1 p1-12b
- ◎引用文献「地球惑星科学入門 2版」(在田一則ほか) 北海道大出版会 2015.3 p415-422
- ◎参考文献ほか「地球環境学入門 2版」(山崎友紀) 講談社 2015.12 p177-179
- ◎参考図書「地球学入門—惑星地球と大気・海洋のシステム 2版」(酒井治孝) 東海大出版部 2016.3 p305-312
- ◎参考文献「人類の未来と地球科学」(井田喜明) 岩波書店 2016.7 p209-211
- ◎文献一覧「ジオコスモスの変容—デカルトからライブニッツまでの地球論」(山田俊弘) 勁草書房 2017.2 p6-25b
- ◎参考引用文献「アーザーワールドと地球システム—The Earth Systemの抄訳と編著者のノートから」(能田成) 大阪公立大共同出版会 2017.3 p149-150
- ◎文献「図説地球科学の事典」(島海光弘ほか) 朝倉書店 2018.4 p218-229
- ◎参考文献ほか「おだやかで恵み豊かな地球のために—地球人間科学入門」(鈴木康弘ほか) 古今書院 2018.6 p5-13b
- ◎参考文献「シミュレート・ジ・アース—未来を予測する地球科学」(河宮未知生) ベレ出版 2018.10 prr
- ◎References「地球のお話365日—理系に育てる基礎のキソ—頭をよくする読み聞かせ」(土屋健) 技術評論社 2019.1 p404-407
- ◎引用参考文献「新しい地球惑星科学」(西山忠男ほか) 培風館 2019.3 p272-279
- ◎参考図書「地球環境学—地球環境を調査・分析・診断する 改訂」

編者略歴

有木 太一（ありき・ふとし）

1968年生。早稲田大学第二文学部卒。深井人詩氏に師事して、在野の書誌研究者となる。2016年版から中西裕氏のもと『書誌年鑑』の編集に加わり、中西氏勇退後の2018年版から編集を引き継いだ。「最近の書誌図書関係文献」（日外アソシエーツHP）毎月連載。

中西 裕（なかにし・ゆたか）

1950年生。早稲田大学第一文学部卒。元昭和女子大学教授・元早稲田大学図書館司書。日本図書館文化史研究会・日本シャーロック・ホームズ・クラブ各会員。図書館情報学の中でもレファレンス・サービスの基礎となる「書誌の書誌」の作成および図書館史を中心に研究。編著書に『書誌年鑑』『日本雑誌総目次要覧』、論文等に「天野敬太郎の書誌観」「ホームズ物語言及作曲家から見るドイルの宗教観」など。

主題書誌索引 2015-2021

2023年5月25日 第1刷発行

編 集／有木太一・中西 裕

発 行 者／山下 浩

発 行 行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／シナノ印刷株式会社

© ARIKI Futoshi, NAKANISHI Yutaka 2023

不許複製・禁無断転載

〈中性紙北越淡クリームキンマリ使用〉

〈落丁・乱丁本はお取り替えます〉

ISBN978-4-8169-2964-9

Printed in Japan, 2023

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。